

〔事業者の理念・方針、期待する職員像：小規模保育事業〕

1	理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	<p>1) 子育てによるこびを 社会に新しい風を 笑顔あふれる子どもが住む 未来の地球のために</p> <p>2) 保育で一番大切なのは、何よりも【愛情】である</p> <p>3) 子どもの未来のために 保護者の笑顔のために</p>
2	期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）
	（1）職員に求めている人材像や役割
	子どもの命と将来を預かっているということを共通認識に持ち、一人ひとりの子どもとしっかり向き合える人
	（2）職員に期待すること（職員に持って欲しい使命感）
	<p>1) 保護者が安心して子どもを託せ、就労できるように努める</p> <p>2) 子ども一人ひとりが安定した生活ができるように援助する</p> <p>3) 感性を磨き、子どもの可能性を引き出す環境づくりを行う</p> <p>4) 様々な保育ニーズに柔軟に対応出来る体制を整える</p>

〔利用者調査：小規模保育事業〕

調査対象	9月1日現在、保育園を利用している全世帯を対象に調査を実施しました。兄弟姉妹のいる世帯は、1世帯として扱い、一番年齢の低いお子さんを対象として回答してもらいました。		
調査方法	無記名方式。配付は事業所を通じて保護者へ手渡しし、回収は密封して評価機関に直接送付してもらい、取りまとめました。調査結果は選択回答だけでなく、記述式の回答についても匿名性に配慮してまとめ、保育園に報告しました。		
利用者総数	9		
利用者家族総数（世帯）	8		
共通評価項目による調査対象者数	8		
共通評価項目による調査の有効回答者数	5		
利用者総数に対する回答者割合（％）	62.5		

利用者調査全体のコメント

総合的な感想では、「大変満足」4名、「無回答」1名であり、80%の利用者（回答者）が満足と回答しています。

毎日の保育サービスにおける「子どもの心身の発達」、「子どもの興味や関心」、「園における食事・おやつ」、「自然や社会と関わる機会の確保」、「あらかじめ取り決めた利用時間の変更」、「安全対策」、「職員との信頼関係」、安心・快適性における「清潔で整理された空間」、「職員の接遇・態度」、「病気やけがをした際の職員の対応」、「子ども同士のいさかい等への職員の対応」、利用者個人の尊重における「子どもの気持ちを尊重した対応」、「プライバシーに対する職員の対応」、「保育内容に関する説明」、および不満・要望への対応における「不満や要望への職員の対応」ですべて100%と多くの項目で高い満足度がうかがえます。

利用者調査結果

共通評価項目 コメント	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	5	0	0	0
100%の方が「はい」と回答しています。特にコメントはありませんでした。				

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	5	0	0	0
100%の方が「はい」と回答しています。特にコメントはありませんでした。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	5	0	0	0
100%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「給食メニューは知らされているが、どのようなものをどのくらい食べているか気になります」などの声がありました。				
4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	5	0	0	0
100%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「お家ではできない経験を沢山させてもらい、とても感謝しています」などの声がありました。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	5	0	0	0
100%の方が「はい」と回答しています。特にコメントはありませんでした。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	5	0	0	0
100%の方が「はい」と回答しています。特にコメントはありませんでした。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	2	0	0	3
40%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「コロナ禍で行事がないため、非該当としました」などの声がありました。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	5	0	0	0
100%の方が「はい」と回答しています。特にコメントはありませんでした。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	5	0	0	0
100%の方が「はい」と回答しています。特にコメントはありませんでした。				

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
10. 職員の接遇・態度は適切か	5	0	0	0
100%の方が「はい」と回答しています。特にコメントはありませんでした。				
11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	5	0	0	0
100%の方が「はい」と回答しています。特にコメントはありませんでした				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	5	0	0	0
100%の方が「はい」と回答しています。特にコメントはありませんでした。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	5	0	0	0
100%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「イヤイヤ期の大変な時期、子どもの気持ちに寄り添ってもらい、とても助かりました」などの声がありました。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	5	0	0	0
100%の方が「はい」と回答しています。特にコメントはありませんでした。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	5	0	0	0
100%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「」などの声がありました。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	5	0	0	0
100%の方が「はい」と回答しています。特にコメントはありませんでした。				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	3	0	0	2
60%の方が「はい」と回答しています。特にコメントはありませんでした。				

〔組織マネジメント：小規模保育事業〕

I 組織マネジメント項目 (カテゴリー 1 ~ 5、7)

No	共通評価項目	
1	カテゴリー 1	
	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリー 1 (1 - 1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 7 / 7
	評価項目 1 事業所が目指していること (理念・ビジョン、基本方針など) を周知している 評点 (○○)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること (理念・ビジョン、基本方針など) について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること (理念・ビジョン、基本方針など) について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	評価項目 2 経営層 (運営管理者含む) は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事務所をリードしている 評点 (○○)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること (理念・ビジョン、基本方針など) の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている ○非該当
	●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること (理念・ビジョン、基本方針など) の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している ○非該当
	評価項目 3 重要な案件について、経営層 (運営管理者含む) は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点 (○○○)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている ○非該当
	●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している ○非該当
	●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている ○非該当
	カテゴリー 1 の講評	
	<p>保育理念、保育方針、子ども像を示す運営目標を職員および保護者の理解に努めています</p> <p>法人理念「子育てによるこびを 社会に新しい風を 笑顔あふれる子どもの住む 未来の地球のために」に基づく保育理念、保育方針を策定し、ホームページで広く発信しています。職員は入社時に本社研修を通して学び、園においては子ども像を示す保育目標とともに「全体的な計画」に明示し、保育業務の基本としています。園長は、申し送りや毎月の職員会議「園ミーティング」にて職員に理解を深めています。保護者には重要事項説明時やSNSでも発信して理解に努めています。</p>	

	<p><u>園長は運営について考えを示し、職員が同じ目標に向かえるよう職責を遂行しています</u> 園長は法人において定められている職位職責に則って業務を遂行しています。「キャリアパス規定」には、各職位への発令について推薦の権限が示されており、園長は毎日の申し送りや毎月の職員会議にて園の運営や保育について考えを示すよう心がけています。年2回の職員面談では、全職員が同じ目標に向かって取り組めるよう、個別の職位職責に沿って業務を指導しています。園長は職員会議での職員の発言を率先して職員の相互理解に努め、疲労が見える職員には会話の時間を取るなど、働きやすい職場づくりに心がけています。</p>		
	<p><u>重要案件は検討や決定の手順が決まっており、決定内容は職員、保護者に周知しています</u> 重要案件については、職員会議で園内の意見を集め、法人本部も出席する園長会議（毎月および随時）で討議し決定しています。職員には毎月の職員会議または随時に周知し、保護者には毎月のおたよりや玄関前に掲示で伝えています。園内の案件については、園長を中心に職員会議で検討し決定しています。法人による決定事項は園長会議または園長を通して申し送りや職員会議で周知しています。職員会議の欠席者には職員会議録や連絡ノートで伝えるほか、口頭や掲示などで周知に努めています。</p>		
2	<p>カテゴリー 2</p>		
	<p>事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行</p>		
	<p>サブカテゴリー 1 (2 - 1)</p>		
	<p>事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している</p>	<p>サブカテゴリー-毎の 標準項目実施状況</p>	<p>6 / 6</p>
	<p>評価項目 1</p>		
	<p>事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している 評点 (○○○○○○)</p>		
	<p>評価</p>	<p>標準項目</p>	
	<p>●あり ○なし</p>	<p>1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している</p>	<p>○非該当</p>
	<p>●あり ○なし</p>	<p>2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している</p>	<p>○非該当</p>
	<p>●あり ○なし</p>	<p>3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している</p>	<p>○非該当</p>
	<p>●あり ○なし</p>	<p>4. 福祉事業全体の動向（行政や業界などの動き）について情報を収集し、課題やニーズを把握している</p>	<p>○非該当</p>
	<p>●あり ○なし</p>	<p>5. 事業所の経営状況を把握・検討している</p>	<p>○非該当</p>
	<p>●あり ○なし</p>	<p>6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している</p>	<p>○非該当</p>
	<p>サブカテゴリー 2 (2 - 2)</p>		
	<p>実践的な計画策定に取り組んでいる</p>		<p>サブカテゴリー-毎の 標準項目実施状況 2 / 5</p>
	<p>評価項目 1</p>		
	<p>事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している 評点 (●●●●)</p>		
	<p>評価</p>	<p>標準項目</p>	
	<p>○あり ●なし</p>	<p>1. 課題をふまえ、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた中・長期計画を策定している</p>	<p>○非該当</p>
	<p>○あり ●なし</p>	<p>2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している</p>	<p>○非該当</p>
	<p>○あり ●なし</p>	<p>3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている</p>	<p>○非該当</p>
	<p>評価項目 2</p>		
	<p>着実な計画の実行に取り組んでいる 評点 (○○)</p>		
	<p>評価</p>	<p>標準項目</p>	
	<p>●あり ○なし</p>	<p>1. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた、計画の推進</p>	<p>○非該当</p>

	方法（体制、職員の役割や活動内容など）、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し（半期・月単位など）、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当
カテゴリー 2 の講評		
<p><u>役所や法人および区の子育て支援サイトからも地域の関連情報を入手し、分析しています</u></p> <p>園は子どもの空き情報の連絡や研修のほか、区行政との連絡の機会は年数回あり、地域の保育園新設予定情報や他園の空き情報などから地域の待機児童の傾向などを把握しています。法人は園を取り巻く地域の保育ニーズや福祉事業の動向および園の経営についても把握分析し、園長会議にて共有しています。また、コロナ禍、地域の他園との交流はほとんどありませんが、区のホームページには「認証保育所・小規模保育事業・家庭的保育（保育ママ）」のサイトが設けられ、関連情報を入手できます。</p>		
<p><u>中長期計画と単年度計画はありませんが、園の財務および活動計画と実行を管理しています</u></p> <p>理念やビジョンなどの実現にむけた中長期計画および単年度の事業計画は策定していませんが、園の単年度の財務帳票ならびに「財務情報等の公表」を作成しています。公表には、事業活動と施設整備、その他の活動による収支および前年度の事業データと活動収入に占める保育従事職員給与支出の割合を表記しています。また、保育に関する全体的な計画と年間指導計画ならびに年間行事計画や研修計画や会議予定などを備えて計画の実行は実施記録で進捗を管理しています。</p>		
<p><u>保護者の意向や職員自己評価結果からの園の改善策を次期の園運営に反映しています</u></p> <p>コロナ禍、毎日の送迎が個別の対面となり、保護者には会話により育児負担の軽減が図られ、必要に応じた個人面談が行われています。園長は、職員誰もが保護者とのコミュニケーションに積極的に取り組むよう、声かけによりきっかけづくりに努めています。日常的に連絡帳や口頭およびSNSを通した保護者からの意見や要望を受け、課題抽出に努めています。法人は年2回、全職員に「教育・保育者の自己評価」を実施し、園ごとの課題を抽出して対策や改善を園に伝え、次期の理念や保育方針の実現にむけた計画を見直しに反映しています。</p>		
3	カテゴリー 3	
経営における社会的責任		
サブカテゴリー 1 (3 - 1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリー-毎の標準項目実施状況 2 / 2
<p>評価項目 1</p> <p>社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる</p> <p style="text-align: right;">評点 (○○)</p>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳を含む）などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳を含む）などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	○非該当
サブカテゴリー 2 (3 - 2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリー-毎の標準項目実施状況 4 / 4
<p>評価項目 1</p> <p>利用者の意向（意見・要望・苦情）を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている</p> <p style="text-align: right;">評点 (○○)</p>		

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者の意向（意見・要望・苦情）に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当
評価項目 2 虐待に対し組織的な防振対策と対応している 評点（○○）		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当
サブカテゴリー 3（3 - 3）		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 5 / 5
評価項目 1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる 評点（○○）		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当
評価項目 2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている 評点（○○○）		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク（事業者連絡会、施設長会など）に参画している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○非該当
カテゴリー 3 の講評		
<p><u>全国保育士会倫理綱領に則った倫理観および個人情報の取扱いを周知徹底しています</u></p> <p>当園の保育に携わっている職員は、全員保育士資格を有し、「全国保育士会倫理綱領」に則った適切な倫理観のうえで保育に従事しています。法人は、就業規則および労働契約書兼労働条件通知書に、業務上知り得た子どもと保護者の個人情報に関する守秘義務を明記して、入職時には誓約を取り交わしています。個人情報保護の体制は、園に整備している「プライバシーポリシー」に定めて職員に周知しています。また、個人情報の保護方針および個人情報の取扱いに関する書面は園内に掲示しています。</p>		
<p><u>苦情解決体制は保護者に周知し、虐待防止については職員および組織で取り組んでいます</u></p> <p>園では、保育内容に関する相談・苦情について受付・解決制度と相談窓口を重要事項説明書に明示し、契約時や入園説明会で保護者に周知しています。園内には苦情解決体制を掲示しています。日常的には個別対面の送迎時に相談や苦情に対応し、SNSによる相談や苦情も受け付けています。回答や説明、改善の提示など、いずれも迅速な対応に努め苦情処理簿で管理しています。また、虐待防止については「虐待の芽チェックリスト」を活用し、職員ならびに組織として予防や早期発見・対応につなげています。</p>		

	<p>子どもの健康管理、緊急連絡先や連携施設を整備し、保護者の安心を支えています</p> <p>当園は短時間保育を行い、必要時には2時間までの延長保育により保護者の就労の安心を支えています。区は区立保育園を当園の連携施設と定め、集団保育を体験する機会の設定および非常災害時の代替え保育が提供されます。また、年2回の内科健診と医療相談を行う嘱託医、毎年の口腔健康診断と指導を行う歯科嘱託医により子どもの健康管理を行っています。コロナ禍、地域連携は限られますが、緊急時の連絡先として、警察署、消防署、足立区子ども支援センターげんき、児童相談所の電話番号を掲示して安全を確保しています。</p>	
4	<p>カテゴリー 4</p>	
	<p>リスクマネジメント</p>	
	<p>サブカテゴリー 1 (4 - 1)</p>	
	<p>リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる</p>	<p>サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 1 / 5</p>
	<p>評価項目 1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる 評点 (○●●●●)</p>	
	<p>評価</p>	<p>標準項目</p>
○あり ●なし	<p>1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク (事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など) を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている</p>	○非該当
○あり ●なし	<p>2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている</p>	○非該当
○あり ●なし	<p>3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画 (B C P) を策定している</p>	○非該当
○あり ●なし	<p>4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる</p>	○非該当
●あり ○なし	<p>5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる</p>	○非該当
	<p>サブカテゴリー 2 (4 - 2)</p>	
	<p>事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている</p>	<p>サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 4 / 4</p>
	<p>評価項目 1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている 評点 (○○○○)</p>	
	<p>評価</p>	<p>標準項目</p>
●あり ○なし	<p>1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員 (実習生やボランティアを含む) が理解し遵守するための取り組みを行っている</p>	○非該当
●あり ○なし	<p>2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・管理している</p>	○非該当
●あり ○なし	<p>3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている</p>	○非該当
●あり ○なし	<p>4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している</p>	○非該当
	<p>カテゴリー4の講評</p>	
	<p>リスクに優先順位は設けていませんが、事故防止や感染症防止に徹底しています</p> <p>園はリスク対策の優先順位は設けていませんが、事故防止としては、「事故及びヒヤリハット報告書」を整備し、種類と発生場所、状況と原因を記し、職員会議で再発防止策を検討しています。事故やヒヤリハット発生時は、申し送り周知および規準に則って区や本社に報告し、園長会議で協議し、再発防止に取り組んでいます。新型コロナウイルス感染防止は「感染症対策・対応マニュアル」に基づき、区の通達や対策に準じて消毒、席の配置や送迎ルール、空気清浄機の設置や換気など徹底して取り組んでいます。</p>	

	<p>大規模災害発生時の事業継続計画を策定していませんが、避難体制を整備しています</p> <p>園は、大規模災害発生時等の事業継続計画を策定していませんが、区が提供する地震に備える「あだち防災マップ & ガイド」や「足立区洪水ハザードマップ」で周辺環境を把握し「園内避難経路マップ」を掲示しています。防火管理者を選任し備蓄品を整備し、消防計画を作成しています。年間の避難訓練では地震・火災・不審者について、遊びの時間など場面を設定して行い、避難と消火と通報の訓練も行っています。保護者はSNSに登録しており、非常災害時の一斉メール配信、公園での引渡しカードを使った引取り訓練も実施して災害発生時に備えています。</p>																
	<p>個人情報保護に関する基本理念と利用目的を表明して、適切な管理・運用に努めています</p> <p>園は、子どもおよび保護者・家族に関する個人情報の取り扱いについて「プライバシーポリシー」に則って管理しています。個人情報保護に関する基本理念および利用目的については、園内に掲示して姿勢を表明しています。保護者には、入園時に「写真・動画の取り扱いに関する同意書」、「SNS掲載についての同意書」および「感染症に関する情報提供についての同意書」を説明して同意・不同意を確認しています。また個人情報を含む書類はキャビネットに施錠して保管し、パソコンなどにはパスワードを設定して漏えい防止に努めています。</p>																
5	<p>カテゴリー 5</p>																
	<p>職員と組織の能力向上</p>																
	<p>サブカテゴリー 1 (5 - 1)</p>																
	<p>事業所が目指している経営・サービスを実現する 人材の確保・育成・定着に取り組んでいる</p>	<p>サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 12 / 12</p>															
	<p>評価項目 1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている 評点 (○○)</p>																
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">評価</th> <th style="width: 60%;">標準項目</th> <th style="width: 20%;"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している</td> <td>○非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる</td> <td>○非該当</td> </tr> </tbody> </table>		評価	標準項目		●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当	●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当						
評価	標準項目																
●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当															
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当															
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td style="width: 20%;">●あり ○なし</td> <td style="width: 60%;">1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望 (キャリアパス) が職員に分かりやすく周知されている</td> <td style="width: 20%;">○非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望 (キャリアパス) と連動した事業所の人材育成計画を策定している</td> <td>○非該当</td> </tr> </tbody> </table>		●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望 (キャリアパス) が職員に分かりやすく周知されている	○非該当	●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望 (キャリアパス) と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当									
●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望 (キャリアパス) が職員に分かりやすく周知されている	○非該当															
●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望 (キャリアパス) と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当															
	<p>評価項目 2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している 評点 (○○)</p>																
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">評価</th> <th style="width: 60%;">標準項目</th> <th style="width: 20%;"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している</td> <td>○非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成 (研修) 計画を策定している</td> <td>○非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成 (研修) 計画へ反映している</td> <td>○非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている</td> <td>○非該当</td> </tr> </tbody> </table>		評価	標準項目		●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当	●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成 (研修) 計画を策定している	○非該当	●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成 (研修) 計画へ反映している	○非該当	●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当
評価	標準項目																
●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当															
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成 (研修) 計画を策定している	○非該当															
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成 (研修) 計画へ反映している	○非該当															
●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当															
	<p>評価項目 3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる 評点 (○○○○)</p>																
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">評価</th> <th style="width: 60%;">標準項目</th> <th style="width: 20%;"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇 (賃金、昇進・昇格等) ・称賛などを連動させている</td> <td>○非該当</td> </tr> </tbody> </table>		評価	標準項目		●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇 (賃金、昇進・昇格等) ・称賛などを連動させている	○非該当									
評価	標準項目																
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇 (賃金、昇進・昇格等) ・称賛などを連動させている	○非該当															
	<p>評価項目 4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる 評点 (○○○○)</p>																
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">評価</th> <th style="width: 60%;">標準項目</th> <th style="width: 20%;"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇 (賃金、昇進・昇格等) ・称賛などを連動させている</td> <td>○非該当</td> </tr> </tbody> </table>		評価	標準項目		●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇 (賃金、昇進・昇格等) ・称賛などを連動させている	○非該当									
評価	標準項目																
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇 (賃金、昇進・昇格等) ・称賛などを連動させている	○非該当															

●あり ○なし	2. 就業状況（勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど）を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当
サブカテゴリー 2 (5 - 2)		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 3 / 3
評価項目 1		
組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点 (○○○)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	○非該当
カテゴリー 5 の講評		
<p><u>ホームページで求人募集を行い、キャリアパスを明確に示しています</u></p> <p>職員採用は園長に決定権があり、求人募集は当園のホームページから行い、職種や業務および処遇や勤務時間帯などを掲載して人材確保に努めています。インターネットのジョブサイトにも掲載し、問合せ等にも対応しています。また、募集の人材によっては、希望による異動や昇格の機会もあります。法人は、職員の長期的展望（キャリアパス）規程を策定し、職位・職責を定め、発令、手当、前職のキャリアに対する対比を示しています。また、処遇改善加算に関する手当受給では必要な研修の受講を推進しています。</p>		
<p><u>職員は年間目標を設定して職務に応じた研修にはオンライン方法でも参加しています</u></p> <p>職員は園の「全体的な計画」に示す保育目標（子ども像）を念頭に、年度初めに年齢クラス別の年間指導計画を作成しています。園長は職員との面談を通して、配置した業務への取り組みをバックアップするために年間の研修計画を立てています。研修は都や区、法人主催によるものがあり、目的を明確に職務に必要とする研修への参加を計画しています。研修参加後は報告書を作成し、職員会議で全職員に共有しています。コロナ禍、足立区などが開催する各種研修はオンラインでも参加でき、常勤職員と非常勤職員の別を問わず園から1人は研修に参加しています。</p>		
<p><u>年2回の面談により職員の子どものために目指す保育の実現をサポートしています</u></p> <p>当園は小規模保育事業であり、職員一人ひとりが役割を担って保育業務に取り組んでいます。年2回の自己評価に基づいた園長面談では、休暇や休憩の取得および健康管理の状況を把握するとともに、子どもたちのために目指す保育の実現に向けた研修参加を計画し、研修報告の場では成果を確認するなど人材育成に努めています。また、園長は職員の定着による組織力を発揮できるよう、親睦会や歓談の機会にも職員の話や意見の傾聴に努め、職員の業務への意欲向上とともに人間力を高めることを心がけています。</p>		

7	カテゴリー 7
事業所の重要課題に対する組織的な活動	
サブカテゴリー 1 (7 - 1)	
事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている	
評価項目 1	
事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている (その 1)	
前年度の重要課題に対する組織的な活動 (評価機関によるまとめ)	
<p>事業所の運営方針にも掲げている人権を大切にされた保育を職員全員で意識的に取り組み強化したいと考えて、「子ども一人ひとりの人権を尊重し、子ども主体の保育を行う」ことを目標に設定しました。保育室の環境を点検することから始めて、1. 子どもが主体的に遊べる環境の確保として、一人遊びや少人数でごっこ遊びを想定したコーナー、のびのび絵本を読めるコーナーをつくりました。コーナーでは子どもが自分で選びやすいように、おもちゃや絵本の棚と収納を配置しました。棚や収納は2段程の高さで手が届き、半透明の収納引き出しは中が分かるように絵を貼って、迷わずに片付けもできます。また、年間指導計画に沿って倉庫のおもちゃを入れ替えることで、子どもの月齢にあわせて知能や機能の成長を促しました。2. プライバシーが守られた空間づくりとして、着替えの時の周囲の視線をさえぎるためのパーテーションを手づくりし、活用に努めました。3. 子どもに配慮した言葉使いとして、肯定的な言葉を使って、一つ一つの動作を誉める、励ます声かけの習得を目指しましたが、コロナ禍もあり人権の研修や勉強会への参加が進みませんでした。</p>	
目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった (目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
評価項目 1 で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評	
<p>子ども主体の保育への取り組みとして、1. 子どもが主体的に遊べる環境の確保、2. プライバシーが守られた空間づくり、3. 子どもに配慮した言葉使いによる励ましの3点を検証した結果、職員の多くからは、さらなる取組が必要との意見がありました。今年度、事業計画は作成していませんが、職員による自己評価及び施設評価に基づき、今年度の継続した重要課題として、「人権に関する研修～子どもの権利の尊重について～」のオンライン外部研修にも参加し、今年度の定期的な研修参加及び全職員への周知を取り決めています。</p>	

<p>評価項目 2</p> <p>事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている（その2）</p>	
<p>前年度の重要課題に対する組織的な活動（評価機関によるまとめ）</p>	
<p>子どもの月齢や個々の発達に応じた保育を行ってきましたが、職員による施設評価の集計結果から、「子どもも職員も心地の良い園で一人ひとりの発達に適した保育をしていく」を重点目標に、1.職員同士がお互いを認め合い協力し合える環境をつくる。2.保育活動内容によっては個別的なかがわりが出来るようにする。3.一人ひとりの発達目標を全職員で周知しその子の発達に見合っているかを常に見直す。4.各年齢にあったおもちゃや遊具を用意する。の4点に取り組みました。結果、良好な職員関係が進み、会議以外にも保育について話し合い、集団活動と同様に個々の保育も大切にするようになりました。また、職員は休憩時間を60分取るためにお互いに協力するようになりました。</p>	
<p>目標の設定と 取り組み</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった</p>
<p>取り組みの検証</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った</p> <p><input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった（目標設定を行っていなかった場合も含む）</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>
<p>検証結果の反映</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた</p> <p><input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>
<p>評価項目 2 で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評</p>	
<p>昨年度の取り組みにより、「子どもも職員も心地の良い園で一人ひとりの発達に適した保育をしていく」の目標は職員自己評価及び施設評価で検証した結果、成果がみられたことから、今年度の保育目標は、1.健やかで笑顔が絶えない子ども、2.自分で考え最後までやりぬく子、3.豊かな感受性と想像力を持つ子ども、4.友達を思いやり人とのつながりを大切にする子どもと具体的な子ども像に展開して掲げました。園長は会議や面談に限らず、職員一人ひとりの話を聞く機会を定期的に持つことで、職員の目標への意識づけを進めています。</p>	

〔サービス分析：小規模保育事業〕

II サービス提供のプロセス項目（カテゴリー6-1～3、6-5～6）

No	共通評価項目		
1	サブカテゴリー1		
	サービス情報の提供		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 4 / 4
	評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している 評点(○○○○)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	○非該当
	●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている	○非該当
	●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	○非該当
	●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	○非該当
	サブカテゴリー1の講評		
	<p><u>法人ホームページやパンフレットで保育理念・保育目標や園の基本情報を伝えています</u> 法人が開設しているホームページには企業理念が「子どもたちには、健やかで笑顔のたえない子どもに育て欲しい」であり、姉妹園共通の保育理念・保育目標が「保育で一番大事なのは、何より『愛情』である」であることを伝えています。区の公式ホームページにも園情報を掲載しています。見学者に渡せるようにA4サイズの紙面を3つ折りにしたハンディタイプのパンフレットを用意し園のコンセプト、めざす子どもたちの姿、デイリープログラム、年間行事予定、施設概要、利用料金、交通アクセスなどを色彩豊かな写真や表、イラストで紹介しています。</p> <p><u>3つ折りのわかりやすいパンフレットを用意し、見学希望者には園長が対応しています</u> 3つ折りのパンフレットには「お問い合わせ・見学・入園説明について」の欄を設け園長名と電話番号、ファックス、Eメールアドレスを載せ、見学や相談を受け入れていることを知らせています。見学の申し込みは数多く寄せられていますが、新型コロナウイルス感染症予防のため受け入れ方法を検討した結果1人ずつ園玄関付近から保育室を見てもらっています。前もって予約をお願いし、園長が案内と説明を担当しており、園の特徴として天気の良い日は毎日散歩に行き、おいしい食事を提供していることなど案内し不安や疑問などがあれば質問に答えています。</p> <p><u>園の特徴である少人数ならではの良さを伝えたいと考え広報活動に取り組んでいます</u> 園の特徴である少人数ならではの良さが、保育園選びで情報を集めている保護者に伝わり、見学者の数も増えています。SNSを活用しての情報提供も始めました。見学希望の連絡があれば、当日でも対応しています。兄弟ケースや、口コミでの問い合わせも多く、卒園生が訪ねてきてくれることもあり、園長はじめ保育士は来園を歓迎しています。路線バスに園の広告を出し、散歩車に旗を立てるなど、広報活動の成果もあり現在は定員いっぱいの園児を迎え、活気のある園となっています。</p>		
2	サブカテゴリー2		
	サービスの開始・終了時の対応		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 6 / 6
	評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている 評点(○○○)		
	評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当	

	●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
	●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当
評価項目 2			
サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている			評点 (○○○)
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している		○非該当
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		○非該当
サブカテゴリー 2 の講評			
入園前面談では重要事項説明書を読み合わせし、保護者の理解と同意を得ています			
<p>入園の手続きは、各家庭の状況や保護者の意向に配慮し個々にスケジュールを調整して面談で行っています。面談は園長が対応し30分から45分の時間を使って重要事項説明書、契約書を読み合わせ、保育内容についても同意を得ています。特に利用方法や料金については丁寧に説明し、用意する物は実物を見せ、登降園時のルールなども伝えています。食事や身体の状況、集団保育の経験の有無、愛称なども聞き、聞き取った情報を保育士全員が共有しています。初めての面談体験に緊張せずに臨めるよう、園長が十分配慮し和やかな雰囲気を大切にしています。</p>			
親子が安心して園生活をスタートできるように余裕を持った慣らし保育を実施しています			
<p>入園直後の不安解消のための慣らし保育は、保護者の希望に合わせ個別の状況に応じて期間を決定し、カレンダーを作って無理なく園に慣れるように配慮しています。子どもに関する個別の事情や要望は、入園前の面談で話し合い、特に生活状況、健康状態の確認は丁寧にしています。園は、保護者にも、この慣らし保育の期間を使って、準備の仕方や、登降園時の流れをゆっくり覚えてもらいたいと考えています。アレルギー対応ではアレルギー面談をして個別に対応しています。新入園児を迎えるにあたっては、園全体で子どもたちを迎える体制を整えています。</p>			
転園や退園のケースでは皆でお別れをし、保護者の不安解消等にも努めています			
<p>新入園児のいるクラスでは緊張が早く解けるように配慮するとともに、在園児にも配慮し双方の安定を目標にしています。転居等で退園していく子どもには、園が親子で立ち寄れる場であることを話しています。0歳児クラスから2歳児クラスまでの園のため、子どもたちは認可保育園や幼稚園など次の園に移っていくこととなりますが、年度途中の転園や退園では年度末にお別れする子と同じように、作品展や写真、メッセージカードを渡し、最後の登園日にはお別れ会をしています。保護者には新しい環境への不安などいつでも相談に乗れることを伝えています。</p>			
3	サブカテゴリー-3		
個別状況の記録と計画策定		サブカテゴリー-毎の 標準項目実施状況 12 / 12	
評価項目 1			
定められた手順に従ってアセスメント（情報収集、分析および課題設定）を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している			評点 (○○○)
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している		○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている		○非該当
評価項目 2			
全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している			評点 (○○○○○)
評価	標準項目		

●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護（生命の保持・情緒の安定）と教育（健康・人間関係・環境・言葉・表現）の各領域を考慮して作成している	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況（年齢・発達状況など）に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている	○非該当
評価項目 3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している 評点（〇〇）		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当
評価項目 4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有している 評点（〇〇）		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当
サブカテゴリー 3 の講評		
<u>子どもの情報を児童票に集約し、一人ひとりの子どもの歩みは発達記録に記載しています</u> 子どもたちの日々の様子は日誌に記入し、週案にはその週の評価と反省を記載しています。1人の子どもの成長していく姿は発達記録に記録し、指標に達した時期と文章によるまとめを定期的に記入しています。子どもの基本情報、家庭の状況、成育歴、予防注射の状況、かかりつけ医なども個人別ファイルに綴じ、在園中の子どもの成長を確認できるようにしています。書類は法人共通と園独自のフォーマットを使用しており、子どもの日中の様子を伝えるための連絡帳は、微笑ましいエピソードを含めて場面が目浮かぶように具体的に記入しています。		
<u>全体的な計画、年間指導計画から現在の子どもの姿に合った月案、週案を作成しています</u> 「全体的な計画」は法人本部のマネージャー担当保育士が立案し、園らしさを加えて0歳児・1歳児・2歳児の年間指導計画を作成しています。月案で具体化し週案では日々の活動を計画しています。園が大切にしている保育方針や保育目標を基に子どもたちの姿を反映させた年間指導計画と月案を作成し、全園児について個別月案を作成しています。週案の評価と反省は「ねらい」や活動、「保育士の配慮」を確認しながら記入しています。この度は各クラスの計画を保育士間で共有することとしました。体系的な保育計画の立案や実践を保護者に知らせています。		
<u>登降園等をチェックする健康観察記録表、園ミーティング議事録で情報共有しています</u> クラスごとの登降園時のチェックを健康観察記録表に記入し、保育士は出勤したら必ず見ることを申し合わせています。クラスごとの日誌には在籍人数や日々の子どもの様子を詳細に記入しています。保育士が共有したほうがいい事柄をもれなく記入する連絡ノートを事務室の所定の場所に置き情報共有に活用しています。毎月の園内ミーティングでは、行事企画やクラスの状況や課題、検討事項を持ち寄って話し合い、ミーティング前は職員に検討課題を募っています。毎月1回定期開催される園内ミーティングの他に、緊急ミーティングを開催することもあります。		
5	サブカテゴリー-5	
	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリー-毎の

評価項目 1

子どものプライバシー保護を徹底している

評点 (○○)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部和やりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○非該当

評価項目 2

サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している

評点 (○○○)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当

サブカテゴリー5の講評

子どもの名前や写真の取り扱いに注意を払い、プライバシーの保護にも力を入れています

子どもと保護者のプライバシーを守ることにについて入園時の面談で話し、秘密保持を約束しています。法人全体で個人情報保護の重要性を認識し、法令を遵守し、最善の注意を払ってお客様の個人情報を保護することが社会的責務であると考えています。園児の名前や写真は、ロッカー、靴箱、壁に貼る制作の作品や当番表、誕生日の掲示物など、園生活に必要な範囲を限定して使用しており、園児の写真や動画の使用も承諾書で保護者の同意を得ています。SNS掲載についての同意書にも保護者の署名をもらっています。

子どもの羞恥心に配慮し、おむつ替えや着替えのルールを守ることを徹底しています

子どもの羞恥心に配慮し、おむつ交換は決まった場所で行い、着替えは裸にならず上着だけ、下着だけを脱ぎ着しています。排泄自立の取り組みでの失敗等では、子どもが恥ずかしい思いをしないように素早く着替えができるようにしています。子どもをニックネームや呼び捨てにせず、家での呼ばれ方を参考に名前に「ちゃん」「君」をつけて話しかけています。区の人権研修にも参加しており、他の子どもの前で叱らない、強い口調で話さないなど保育士の子どもの権利を守る意識は高く、不適切な言動があった場合はお互いに注意できる環境となっています。

それぞれの家庭の価値観や生活習慣を理解し、いつでも相談に乗れる体制を取っています

保護者の持つ価値観や生活習慣を尊重し、いつでも相談を受ける体制を取っています。園長は玄関の隣の事務室に座り、送迎時は常に話かけやすい雰囲気を保っています。相談には保護者が子育ての喜びを感じるようなアドバイスをしています。また、園長は、集団生活の中で、子どもは成長過程で様々な経験を積み重ねており、保護者と園の価値観の違いを理解し合うことは、保育にとって一番大切と考えています。職員間で児童虐待対応マニュアル等の理解も進み、見守りの大切さを学び早期の発見が重要なことも共有しています。学びの継続が期待されます。

6

サブカテゴリー6

事業所業務の標準化

サブカテゴリー毎の

標準項目実施状況 3 / 5

評価項目 1

手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

評点 (○○●)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検	○非該当

	見直しをしている	
○あり ●なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当
評価項目 2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている 評点(○●)		
評価	標準項目	
○あり ●なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当
サブカテゴリー6の講評		
<u>規程、マニュアル、チェックリストを整備して業務の標準化に取り組んでいます</u> 全国保育士倫理要綱のほか事故・虐待・危機管理・アレルギー・衛生管理・感染症などのマニュアルを整備し、昨年は新型コロナウイルス対策マニュアルを追加しています。日常的なマニュアルの活用はされていないようですが、事故対応や苦情解決体制、非常災害時の連絡先一覧などは事務所に掲示し、咄嗟の確認に備えています。また、睡眠・くすり・散歩などの表は、確認項目のチェックや記入で保育上の安全を確保しています。基本事項や手順の変更の時期や基準は定めていませんが、必要に応じ園長会議で見直して業務の標準化に取り組んでいます。		
<u>保育者および施設の自己評価を年2回行い園の業務水準を見直しています</u> 法人は、園で「教育・保育者の自己評価」と「施設の自己評価」を年2回実施しています。前者は、日々の教育・保育の「計画」、「子どもとのかかわり」、「保護者とのかかわり」、「保育室の環境」の評価項目についてA B C Dランクと自身の取組みを記述式で記入します。また、園長のみ記入欄を設けて課題を抽出しています。後者は、自己評価記入後の職員会議の時間を使って記入を求め、「教育・保育施設ならびに保育者の質の向上」や「健康・安全」などの項目へのランクと意見・改善案を記し、業務水準の見直しに活用しています。		
<u>職員会議や給食会議および園長会議での討議は、保育業務や園の経営に活かされています</u> 園では日々の申し送り、毎月の職員会議と給食会議および法人主催の園長会議にて課題は段階的に討議されています。日々の保育の問題、保護者の意見、職員の気づきおよび課題へ対策や改善はいずれも園経営に活かされています。また、行政との会議および地域会議、小規模保育園の連絡会などでは、社会的情勢や地域社会資源に関する情報収集も行っています。また、保護者の連絡帳や登降園時の相談、保護者へのアンケート内容など、保育および保育業務の見直しに反映しています。		

III サービスの実施項目 (カテゴリー 6-4)

		サブカテゴリ-4	
サービスの実施項目		サブカテゴリ-毎の 標準項目実施状況 33 / 34	
1	評価項目 1 子ども一人ひとりの発達状態に応じた保育を行っている	評価 (○○○○○○)	
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	○非該当
	●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	○非該当
	●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	○非該当
	●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども (障害のある子どもを含む) の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	○非該当
	●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル (けんか・かみつき等) に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○非該当
評価項目 1 の講評			
<p><u>子どもの成長を見守りながら、一人ひとりを大切に保育を実践しています</u> 入園前の生活環境等は面接記録から把握しています。登降園時の保護者との会話や連絡帳、発達の経過記録などから、保育士は子どもの全体の姿を把握しています。子どもの成長の進み具合を見守る姿勢で、一人ひとりを大切にする保育に取り組んでいます。成長著しい時期の子どもたちの動線を考え、保育室は子どもの発達に合わせて過ごしやすい環境設定になるように工夫しています。子どもたちが好きな遊びに取り組みるように机上遊びのコーナーを設ける一方で、活動的な子どもの動きも妨げないようにして、穏やかに満足して過ごせるようにしています。</p>			
<p><u>子どもたちが好きな遊びに夢中になれるように保育室の環境設定に工夫を凝らしています</u> 保育室は子どもの個性や成長に合わせて過ごしやすい環境設定になるようにしています。子どもたちが自由に遊びを選んで遊べるように、保育室内の棚をきれいに整理して玩具を置き、手を伸ばせば取れるようにしています。また、保育士手製の玩具、イラスト付きの棚や敷物などを数多く用意しています。保育室内の随所に工夫を凝らし、子どもたちが出すサインをキャッチして、自分で選択できるように声かけしています。0、1、2歳児は同じワンフロアの保育室で過ごしており、保育士が連携良く動き自由な遊びの中ではお互いを認め合う姿も見られています。</p>			
<p><u>子ども同士のトラブルは大切な経験ととらえ、保育士が子どもに応じた支援をしています</u> 発達の過程で生じる子ども同士のトラブルは、大切な経験であると考え、お互いが成長できる機会と捉え保護者にも理解を求めています。保育士は双方の子どもの気持ちを感じ取り子どもに応じて支援を行っています。保育士の見守りのなかで、ゆっくり話しながら少しでもお互いが理解できるようにしています。すぐに手が出たり、噛みつくといった行動に対しては、そこに至った子どもの背景や気持ちを受け止め、未然に防ぐことが大人の役割と考え、保育士の立ち位置を考え環境設定を整えています。保育士間の会話は多く様々な提案をしやすい環境もあります。</p>			
2	評価項目 2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている	評価 (○○○○)	
	評価	標準項目	

	●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
	●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
	●あり ○なし	3. 休息（昼寝を含む）の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
	●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当
評価項目 2 の講評			
<p><u>登降園時は保育士と保護者が子どもの様子を伝え合っています</u></p> <p>登園時の受け入れでは、保育士が子どもの健康状態について確認し、連絡帳に保護者の記載した家庭での子どもの様子、食事、睡眠、健康状態についても確認し、排便は済んでいるか、咳や鼻水はどうか、嘔吐、下痢、目やに、発疹など、子どもの細かな症状についても気にかけています。子どもの顔色や機嫌なども見ており、保護者との会話を大切にしています。新型コロナウイルス感染症予防のため朝の受け入れは短時間となっており、気になる事柄や職員間で共有が必要な内容は保育日誌や健康観察チェック表、職員連絡ノートに記載しています。</p>			
<p><u>指導計画に基づき家庭と連携しながら子どもたちが基本的な生活習慣を身に着けています</u></p> <p>年齢的な課題や狙いに縛られず、それぞれの子どもの姿から課題を捉える事が大切と考え、無理なく基本的な生活習慣が身に着くように配慮しています。離乳食は家庭で食べた食材を園で提供できるようにし、離乳食から幼児食へと進めています。散歩から帰ってからの手洗いも直ぐにできるようになりました。排せつ自立への取り組みも、保護者の願いを受けとめ家庭と歩調を合わせています。1歳児は「自分もやってみたい」との気持ちが引き出され、2歳児は褒められて、できる喜びで繰り返し、何でも上手になるなど、少人数の園の良さが随所に見られます。</p>			
<p><u>一人ひとりの子どもに合わせ午睡の環境を整え、休息する時間を確保しています</u></p> <p>午前寝が必要な子どもには、保育士が付き添い安心できる環境のもと、睡眠を取っています。子どもの午睡時間は、基本的な長さをデイリープログラムの中に入れていますが、健康状態や家庭での生活リズムを考慮して、子ども一人ひとりに合わせた時間や休息時間を調整しています。月齢に合わせて無理なく過ごせるようにしており、夜の睡眠など家庭での様子をふまえて柔軟に対応しています。保育室を、午睡と活動のスペースに分けて使用していることもあり、子どもたちの午睡環境は良く、落ち着いた静かな中で休息が取れています。</p>			
3	<p>評価項目 3</p> <p>日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している 評点 (○○○○○○)</p>		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
	●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
	●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
	●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
	●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
	●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当
評価項目 3 の講評			
<p><u>年齢で変化する子どもの興味や関心を把握し、好きな遊びに夢中になれるようにしています</u></p> <p>子どもが今、何に興味や関心があるか保育士は把握しています。職員の配置にゆとりを持たせ保育がゆったりと進むようにしており、0、1、2歳児の個々の子どもに寄り添った対応をめざしています。子どもの手の届く高さの棚に玩具を置き、遊んだ後は片づけられるように棚にイラストや写真を貼っています。手指の器用さを育む知育の玩具もそろえ、子どもの成長に合わせ、空間を仕切るパーテーションを用意し、本棚には興味を誘う絵本を置き、</p>			

子どもが遊びを探して夢中になれる環境を作っています。滑り台、鉄棒、マットも人気の遊びとなっています。

歌や絵本などで言葉に触れ、手遊びや季節の制作など多彩な活動をしています

年齢に応じた子どもの欲求を捉えることを大切にし、年齢や発達に合ったリズム遊びを取り入れ、歌を覚えて唄っています。身体を動かす事も好きで音楽が流れるとリズムを取って体を振り、楽しんでいます。制作では公園で見つけた木の実や落ち葉を使い、手形や足形をペイントして作品を完成させ壁面に飾っています。絵本への取り組みを重視していることもあり、子どもが絵本に親しむ機会が多く、子どもから本の読み聞かせのリクエストが集中しています。異年齢で過ごす環境も影響し、保育士との関わりの中で自然に必要な言葉を覚えています。

天気の良い日は毎日散歩に行き戸外遊びを楽しみ、子どもたちがのびのび過ごしています

午前中は散歩で体を動かし、午後は室内で様々な遊びをして過ごすといったバランスの取れた計画を立てています。毎日の散歩で子どもたちは公園や土手、グラウンドなど自然の中で存分に体を動かし季節を感じてのびのびと過ごしています。夏の晴れた日はプール遊びで水と親しむ機会もあります。散歩では保育士が年齢に応じたルールや約束事を理由が分かるように話しています。散歩の様子は「散歩日誌」に記録し、散歩コース、子どもの人数、出発時間、帰園予定時間、報告、注意事項等の他、引率者の人数と先導・中導・後導の名前も記載しています。

4 評価項目 4

日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している

評点 (○○○)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当

評価項目 4 の講評

秋祭りは「ミニオリンピック」の企画で実施し、子どもたちがチャレンジして楽しみました

今年は新型コロナウイルス感染症の予防に力を入れる必要があり、年間計画の行事として企画した内容を、微調整し、園長はじめ保育士全員で工夫を凝らしています。9月の秋祭りは「ミニオリンピック」と称して、この夏日本中で盛り上がったオリンピック東京大会を題材に、運動遊びを楽しみました。競技は3つで、カラーボールを使用して時間を決めてボール入れる「バスケットボール」、ベルトをしてパーベルを持ち上げる「重量挙げ」、ウレタンブロックの段差を超える「スポーツクライミング」に挑戦し、首にメダルを掛けて記念写真を撮りました。

子どもの成長を保護者が実感し、楽しさを一緒に感じられるようにしています

ハロウィンなどは皆で仮装して避難車に乗って出かけ、近隣の魚屋さんなどに預けておいた菓子を貰いました。クリスマス会など今後の企画も、子どもたちが「やってみて楽しかった」という満足感を感じることをめざしています。行事は子どもにとって豊かな体験の場となるようにねらいを明確にしています。保護者が楽しみに感じて参加してもらえる行事をめざしていますが、今年は新型コロナウイルス感染症予防で変更せざるを得ない状況となっています。保護者が見られるようSNSで発信し写真も園玄関に掲示し、笑顔でのびのび体を動かす子どもの姿を紹介しています。

5	評価項目 5		評点 (○ ○)
	保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
	●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当
評価項目 5 の講評			
<p><u>園の特徴から保育形態が昼間と変わることなく安全で快適に過ごせるようにしています</u> 朝は7時45分頃から登園しており、朝の時間帯は自由遊びをして、遅れて登園した子どもたちもスムーズに遊びの輪に入っています。18時頃の降園まで安全で快適に過ごせるように配慮しています。朝夕の時間帯はゆったりと穏やかに過ごすことを目標としています。全園児を職員全員で見る体制のため子ども一人ひとりへの配慮は行き届いています。降園時間では、徐々に子どもたちが降園していく様子に、保護者の迎えを心待ちにする子どもの不安な気持ちを軽減するように努めています。子どもの希望に沿ってリラックスして過ごせるようにしています。</p>			
<p><u>遊びのコーナーを作ったり、特別感のある玩具を出して楽しんでいます</u> 園は、延長保育で使用する部屋の環境にも配慮し、ゆったりとした保育が行われる時間帯となるよう工夫を凝らしています。年齢の違う子どもたちが楽しく遊べるようにしています。何をして遊びたいかを尋ね、ブロックやパズル、絵本などの静かな机上遊びのコーナーを用意し、保護者のお迎えを待っています。その中で乗り物やボールで活動的に遊ぶ子どももおり、特別感のある玩具を出し独り占めできる環境を楽しんだり、保育士にじっくりと絵本を読んでもらう事もできます。昼とは違う仲間間でゲームをしたり、少人数ならではの遊びを楽しんでいます。</p>			
6	評価項目 6		評点 (○ ○ ○ ○)
	子どもが楽しく安心して食べることが出来る食事を提供している		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
	●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調（食物アレルギーを含む）や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当	
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み（食材の栽培や子どもの調理活動等）を行っている	○非該当	
評価項目 6 の講評			
<p><u>旬の食材を使い子どもたちが楽しめるバラエティー豊かな美味しい食事を提供しています</u> 子どもたちの嗜好に合った偏りのない食事を提供しています。食材の仕入れにもこだわり、季節感を大切にしています。家庭では調理しにくい魚や豆、乾物なども取り入れ、子どもがたくさんの味を覚え、おいしさを共有して欲しいとの願いを込めて作っています。バラエティー豊かな給食とおやつは子どもたちに好評で、最初は必要なカロリーを満たす分量を、子どもの発達に合った食器に盛り付け、完食後は好きなものをおかわりできるようにしています。魚と野菜の多い副菜やパン、毎月企画している季節の行事食など食事を楽しむ様々な工夫があります。</p>			
<p><u>食物アレルギーの対応では子ども一人ひとりの状態に合わせた食事を提供しています</u> 食物アレルギーについては入園時にアレルギー等について聞き、主治医の指示書に基づいてマニュアルに沿って対応しています。除去が必要な食品については園長、担任、調理担当が保護者と話し合い確認しています。専用の小</p>			

机を皆の机の横に置き、専用のトレーで他の子どもと区別がつくようにして、保育士が誤食がないように見守っています。離乳食では食材チェック表で献立に未食材がある時は前もって家でお試しを依頼しています。宗教上の理由で除去の必要な食品のある子どもが在園の場合は保護者と十分な話し合いのもと対応することを定めています。

「冬の野菜に触れる」をテーマにするなど、アイデア豊富な食育を行っています

ミートローフにサラダとスープがついたお誕生会メニューのおやつはバナナケーキでした。クリスマスメニューは鶏のから揚げと温野菜サラダ、おやつはデコレーションしたカップケーキでした。保育士と調理スタッフが協力し年齢に応じた食育活動に取り組んでいます。12月の食育は「冬の野菜に触れる」をテーマに白菜、人参、ブロッコリー、小松菜、ミカンなどの冬野菜に触れ、皮むきや、重さや感触、香りなどを感じ、絵カードで見た野菜が給食の中にあるのを発見して楽しむ体験をしました。野菜を紹介した絵本を読み、野菜スタンプの制作もあります。

7	評価項目 7		子どもが心身の健康を維持できるよう援助している	評点 (○○○)
	評価	標準項目		
	●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当	
	●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み (乳幼児突然死症候群の予防を含む) を行っている	○非該当		
評価項目 7 の講評				
<u>衛生面の注意や、遊びのルールを子どもと一緒に考え、安全に過ごせるようにしています</u>				
咳が出たらどうしたら良いか、鼻が出たらどうしたら良いかの対応を教え、子どもが自ら動けるように教えています。子どもたちと散歩に出かける時は、年齢に応じて理解できるように危険について話しています。遊びに入る前には遊具の使い方を説明し、約束などを話しています。年齢に応じて、子どもたちと保育士が遊びの仕方を一緒に考える時間を作っています。保育士が絵本や手作りのパネルシアターを使って、身体のしくみや公共の場でのマナーも少しずつ理解できるようにしています。衛生面でも、外から帰り手洗いする必要性について説明しています。				
<u>感染症発生時の対応や蔓延防止や健康診断など、子どもの健康管理に力を入れています</u>				
子どもの体調には気を配り、感染症発生時の対応と蔓延防止もマニュアルに沿って対応しています。全園児について年2回の嘱託医の健康診断を受ける機会を作っており、毎月の身体計測の数値、6月の歯科検診結果と共に保護者に知らせ、予防接種の接種状況も把握しています。身体計測の値は法人本部の栄養士に送り、アドバイスを貰っています。様々な保護者の相談にも応じています。医療的処置の必要な子どもは現在在園していませんが、在園した場合は保護者を介して主治医の指示を聞き日常の保育に活かしていこうと考えています。				
<u>入園時に感染症やSIDSについて説明し、園だよりや健康だよりで保護者に伝えています</u>				
乳幼児突然死症候群 (S I D S) 対応は入園時に丁寧に説明し、懇談会でも伝え理解を求めています。午睡時は0歳児は5分ごと、1歳児2歳児は10分ごと確認し、入眠・起床時間、体の向き、呼吸と記録者名を午睡チェック表に記入しています。午睡時は必ず保育士が付き添っています。園内ミーティングでは年齢によって違う配慮事項を検討しており、保護者の必要とする情報は園だより、健康だより等にも掲載しています。感染症対策、予防接種など区からの案内は園の玄関に掲示し、季節の話題や家庭で役立つ健康情報を園だよりに掲載しています。				

8	評価項目 8		保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている	評点 (○○○○●)
	評価	標準項目		
	●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当	

	○あり ●なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
	●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
	●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
	●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当
評価項目 8 の講評			
<p><u>保護者のそれぞれの立場に立った柔軟な対応で就労を支援し、信頼関係を醸成しています</u></p> <p>子どもの遅刻、早退、欠席が前もってわかる時は連絡帳に記入をお願いし、送迎時に確認しています。登園・降園時間への配慮も個別の申し出を受け対応しています。保育士は送迎時の保護者との会話や連絡帳の記載事項で積極的にコミュニケーションを取り、保護者の気持を汲み取っており、急な残業等にも柔軟に対応しています。新型コロナウイルス感染症予防のため保護者会の開催がなくなる中、園長はじめ保育士は保護者との会話を大切に考えており、園だよりやお便りの内容を充実させ、各クラスの様子を詳しく伝えるなどで信頼関係を醸成しています。</p>			
<p><u>子どもたちの様子は小さなことでも伝えようと申し合わせています</u></p> <p>保育士は、日々の活動で見せる子どもたちの姿や小さな発見も保護者に伝えようと考えています。園が大切にしていることの一つに「子どもの未来のために、保護者の笑顔のために」を掲げ、子どもたちの大好きな活動や、行事、給食やおやつの写真、食育活動などをSNSや写真で紹介することで保育への理解が深まるようにしています。現在は新型コロナウイルス感染症対策で、登降園を玄関で対応しているため、コミュニケーション不足に注意しています。玄関の掲示板に園だより、健康だより等を掲示し、今後は保護者同士の交流にも力を入れていきたいと考えています。</p>			
<p><u>新型コロナウイルス感染症対策を取りながら、行事等もおこない保護者の声を聴いています</u></p> <p>通常は年に2回保護者会が開催されており、園が特に力を入れている保育目標や、年齢に応じた生活習慣の獲得について、行事や保育の見通しなどを分かりやすく説明していました。新型コロナウイルス感染症予防に力を入れながら、行事は保護者の参加人数を限定して実施し、登降園時の会話や連絡帳で保護者の要望を聞く機会を作り、それらで得た感想から要望を把握しています。保護者の意見を積極的に集め、集計分析結果を保育に反映させており、新型コロナウイルス感染症の影響で実施できていない個人面談や行事後のアンケートの実施など、今後再開したいと考えています。</p>			
9	<p>評価項目 9</p> <p>地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている</p> <p style="text-align: right;">評点 (○ ○)</p>		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
	●あり ○なし	2. 園の行事に地域の方の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
評価項目 9 の講評			
<p><u>新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、子どもたちが地域と交流する仕組みを整備しています</u></p> <p>天気のいい日は近隣の公園や土手、グラウンドなどに散歩に出かけ、出会った地域の人に挨拶をしています。園は感染症対策や立地、スペースの関係で、園行事に地域の方の招待や、保育公開が難しい環境となっており、これまで利用していた公共の施設も閉館しているため利用できない状況となっています。また、新型コロナウイルス感染症の対策で近隣の催事も中止になるなど、困難な状況が続く中、ハロウィンでは思い思いの衣装を着て街を散歩し、近所の魚屋さんに預けておいたお菓子を貰う体験をしました。今後も地域交流の幅を広げたいと考えています。</p>			
<p><u>地域にある施設や他園との交流等を実現したいと考えています</u></p> <p>園長と保育士、調理担当など職員が丸一となって運営に関わり、子どもと保護者のために一番良い方法を模索しながら園を盛り上げ、現在に至っています。現在は定員一杯の子どもが通園しています。次年度の入園希望の問い合</p>			

わせも多く、口コミもあり、地域の子育て世代の方たちが園の運営に関心があることを理解しています。2歳まで園で過ごした子どもたちは認可保育所や幼稚園に進級することとなりますが、園は保護者とのいい関係を継続して行きたいと考えています。

〔事業者が特に力を入れている取り組み：小規模保育事業〕

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル①	園の周辺の公園や土手など、自然の中で遊びを楽しみ子どもたちがのびのび過ごしています	
内容①	毎日の散歩で子どもたちは公園や土手、グラウンドなど自然の中で存分に体を動かし季節を感じてのびのびと過ごしています。散歩では四季折々の花を見て木の実や木の葉を持ち帰って制作に使い、見つけた昆虫を持ち帰り名前をつけて仲間としてお世話しています。歩く距離は少しずつ延び、大きな川の土手の斜面を元気よく登るなどで体力をつけています。散歩の様子を散歩日誌に記録し安全にも十分配慮しています。午前中は散歩で体を動かし、午後は室内で様々な遊びをして過ごすといったバランスの取れた週案も、子どもたちを主役にして立案しています。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている
タイトル②	子どもたちの様子は小さなことでも伝えようと申し合わせ、信頼関係を醸成しています	
内容②	保育士は、日々の活動で見せる子どもたちの姿や小さな発見も保護者に伝えようと考えています。送迎時の保護者との会話や連絡帳の記載事項で積極的にコミュニケーションを取り、子どもたちの大好きな活動や、行事、食育活動などをSNSや写真で紹介することで保育への理解が深まるようにしています。保護者の希望、要望を遠慮なく話してもらえる関係を作っています。現在は新型コロナウイルス感染症対策で、登降園を玄関で対応しているため玄関ホールに制作や園だより、健康だより等を掲示しています。この度の利用者調査からも保護者の高い満足度がうかがえます。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-4	日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している
タイトル③	秋の「ミニオリンピック」では子どもたちがチャレンジして楽しめるように企画しました	
内容③	保育士が日常の保育活動の中から子どもたちの興味関心を把握して、それをきっかけに行事内容を組み立てています。今年は新型コロナウイルス感染症予防に力を入れ、内容を変更しながらも、子どもが主役となって楽しめるような企画構成を考えました。9月の「ミニオリンピック」では3つの競技「バスケットボール」、「重量挙げ」、「スポーツクライミング」に挑戦し運動遊びで楽しみました。最後に首にメダルを掛けた子どもたちの誇らしげな姿を記念写真に収めました。笑顔でのびのび体を動かす子どもの姿をみることができるよう行事を企画したいと考えています。	

〔全体の評価講評：小規模保育事業〕

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	園の特徴である小規模で家庭的なゆったりとした保育に取り組み、環境設定や保育士手作り玩具で子どもの興味や関心を広げています
	内容	園の特徴である少人数ならではの良さを存分に生かし、毎日の保育活動は充実しています。特に保育士手製の玩具は、ガラガラと音の出る玩具や色の綺麗なボトル、紐通しなど小さなものから、電化製品、イラスト付きの棚や敷物などを多岐に渡っています。それらは手を伸ばせば取れる場所に置き、子どもたちが出すサインをキャッチして、自分で選択できるように声をかけています。子どもの個性や成長に合わせて過ごしやすい環境設定になるよう動線を配慮し保育室内を整えています。自由遊びでは保育士の声掛けも豊富で思いやりや優しさを身も着けています。
2	タイトル	旬の食材を使い、子どもたちが楽しめるバラエティー豊かな美味しい食事を提供しており、保育士と調理担当が連携して行う食育も好評です
	内容	子どもたちの嗜好に合った偏りのない食事を提供しています。魚や野菜の多い副菜やパンや麺など、バラエティー豊かな給食とおやつは保護者と子どもたちに好評です。家庭では調理しにくい魚や豆、乾物なども取り入れ、子どもがたくさんのおいしさを共有して欲しいとの願いを込めて作っています。毎月企画している季節の行事食などにも食を楽しむ様々な工夫があります。特にお誕生会メニューやクリスマスメニューは豪華です。保育士と調理スタッフが協力して年齢に応じた食育にも取り組み12月は「冬の野菜に触れる」を企画して楽しみました。
3	タイトル	園は、保育上の子どもの安全と衛生管理に徹底して取り組んでいます
	内容	園は、事故防止マニュアルの整備とともにヒヤリハットについても報告書を作成（種類・発生場所・状況・原因）して対策を職員会議で検討しています。また、園内や散歩コースの危険マップ作成と対策により保育上の安全に努めています。新型コロナウイルス感染防止では、「感染症対策・対応マニュアル」を基本に足立区からの通達に準じた「コロナ感染症マニュアル」を策定しました。子どもと職員の手洗いうがいの励行とともに「消毒リスト」に基づく消毒の実施、席の配置や送迎時のルールを徹底し、空気清浄機の増設や換気などで衛生管理を徹底しています。

No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	園が目指している理念・ビジョン等について、職員および保護者の理解が深まるさらなる取り組みが期待されます
	内容	職員は園が目指している理念やビジョンについて入職時に本部で説明を受けており、園の保育理念・保育方針はホームページやパンフレットに記され、園内掲示や全体的な計画にも記載されています。職員へのさらなる周知について、園としても課題と考えており、今回の職員自己評価における「事業所が目指していることの周知」においても十分とは言えない結果となり、今後のさらなる取り組みが期待されます。また、園として小規模保育の良い点を活かした取り組みを行なう姿勢・ビジョン等、保護者へも理解が深まるようなさらなる取り組みも期待されます。
2	タイトル	中長期計画を踏まえた単年度計画の策定が望まれます
	内容	法人の理念および園の保育理念・方針・目標（子ども像）は、全体的な計画に明示し、保育の内容（養護・教育・食育）、年齢別保育目標など計画しています。年間指導計画は、全体的な計画に基づいて、子どもの姿・養護・教育・環境構成・保護者支援を計画し、年齢ごとの月間カリキュラムに沿って保育を行います。0～2歳児の個別指導計画含め保育は日誌、週の評価・反省、毎月・年間の自己評価を記入して次の計画に反映しています。保育目標への取り組みを園の方向性と確認するためにも中長期計画を踏まえた単年度計画の策定が望まれます。
3	タイトル	各クラスで作成した保育計画を保育士間で共有しアドバイスし合える環境づくりに取り組み始めましたので、更なる充実が期待されます
	内容	「全体的な計画」に園らしさを加えて0歳児・1歳児・2歳児の年間指導計画を作成しています。月案で具体化し週案では日々の活動を計画しています。園が大切にしている保育方針や保育目標を基に子どもたちの姿を反映させた月案から週案を作成し、掲示して保護者に伝えています。ここ数カ月で0歳児の入園が続き、定員が満たされましたので、園として更に充実した保育活動をめざしています。この度は、各クラスで作成した保育計画を、保育士間で共有しアドバイスし合える環境づくりに取り組み始めました。この取り組みが進むことが期待されます。